



社団法人 日本助産師会

# 宮城県支部だより

第20号

平成20年10月吉日発行

発行 社団法人日本助産師会宮城県支部

<http://midwife-miyagi.sakura.ne.jp>

〒981-0911

宮城県仙台市青葉区台原 5-12-1

目

次

1. 日本助産師会北海道・東北ブロック  
研修会に行ってきた  
・新田双葉 ・阿部弥生
2. サンバ時代の助産師  
- 仙台市 片桐かね子

3. 投稿 「助産師として、健康推進課へ配属」  
登米市健康推進課 伊藤真理
5. お知らせ
6. 編集後記



## 1. 日本助産師会北海道・東北ブロック研修会に行ってきました

テーマ：自律した助産師を目指して

9月20日(土) 「助産師のコアコンペテンシーとは」  
子育て支援センター報告  
参加型マタニティクラスの運営  
パースエディケーター 戸田律子

9月20日(土) 「今助産師に求められているもの」  
パネルディスカッション  
「性の健康教育 今何が求められているか」  
日本家族計画協会 クリニック 北村邦夫  
参加医療補償制度の説明



北村邦夫先

参加者の声

**新田双葉氏** 宮城県支部からは、支援センター報告として、田村雪子事務局長、また、パネルディスカッションでは開業助産師の立場からとして、伊藤朋子さんが報告しました。応援も兼ねて行ってきました。支部長時代にお世話になった他県の方とも、久々にお会いし、共に研修を受けてきました。年々参加者が少なくなっていますが、参加する意義は十分あります。助産師の職能を維持するためにも是非参加しましょう。

**阿部弥生氏** お産に係わらなくなって、1年が過ぎてしまいました。このまま看護師として働いていくのかなと気持ちが弱くなりかけていた時、今回の研修会に参加しました。元気と勇気ももらいました。助産師学校卒業以来の恩師や友人にも会え、嬉しい研修でした。

## 2.産婆世代の助産師たち

仙台空襲の次の日  
家庭分娩3,000件  
そして、病院勤務へ

仙台地区 片桐包子



今回は、仙台市宮城野区蒲生地区にお住まいの片桐包子先生を電話でお訪ねしました。研修会にいつもいらっしゃってくれますので、ご存知の方も多いと思います。優しい笑みと上品な様相に、片桐先生の人を大切にされてこられた人生がつまっています。

「人生は出会いです」とおっしゃる片桐先生の人生をお聴きしました。

高等小学校を卒業してから、その時代の女性が皆そうするように奉公に出ていました。奉公の間、自分の人生を考えました。田舎の農家の人間として、このまま人生を終わっていいのだろうか。このままここにいても何も出来ない。何か身につけるべきではないかと。そんな折、東北帝国大学病院にお勤めしてらした志津川の看護師さんのお知り合いの方に、東北帝国大学医学部医院養成所のことを教えてもらい、願書まで取り寄せて下さり、それが転機になりました。その人との出会いがなかったら、今の私はありません。

昭和15年4月、入舎し、2年後看護婦の資格を得、その後昭和19年3月に産婆の資格を得ました。その後は仙台市立病院に1年間勤めました。

昭和20年、戦争も大分厳しくなりましたが、開業出張助産師として開業しました。故仙台市宮城野区中野新田の斉藤産婆さんがご不在とのことで、家庭分娩を急遽頼まれ、家庭分娩取り扱い1号になりました。忘れもしません。昭和19年7月11日仙台空襲の次の日です。その後、依頼が増え、蒲生・深沼・多賀城周辺の3,000人余りの家庭分娩の取り扱いをしました。

幸いにも何も無く無事に過ごすことが出来たことは幸せなことです。とは申してもお産は何かあるものです。癒着胎盤で塩竈の遠藤先生に往診をお願いしたことがあります。流産後の処置を鉄砲町の今泉先生をお願いしたこともあります。昔は先生が往診かばんを持って、気軽に往診して下さいました。

家庭分娩が少なくなった昭和42年になって、宮城第二病院に勤めている大學病院の先輩に、「遊びに来て」と言ってもらい、次は「手伝って」、次は「履歴書を書いてきて」とのこと。慌ただしく、職員となり、昭和56年の定年まで勤めました。

家庭分娩に係わっていた頃は、終戦後皆貧しく困っている時代です。分娩介助料など頂けないことが多かったですね。律儀に毎年少しずつ持ってきてくれる人もいましたがね。

病院勤務は、朝早くの出勤が大変でしたが、定期的な収入があることがよかったです。今は、お陰さまで息子たちに囲まれて、穏やかに暮らしています。

蒲生干潟で有名な仙台市宮城野区蒲生に住んでおります。いい所です。お足を運んで下さい。



左から、片桐先生・青木先生・照井先生

### 3. 投稿 「助産師として、健康推進課へ配属」

#### 登米市健康推進課 伊藤真理

病院に勤務(佐沼病院)して 23 年、助産に明け暮れていました。そんな中、昨年まさかの産婦人科、小児科病棟閉鎖、愕然としました。それから半年看護師として働いて、慣れながらも時が過ぎて、「これでいいんだ、これでいいのか?」と自問自答しながら、自分を納得させて来ました。そんな折、「新生児訪問を中心に市役所で勤務しないか」との打診を受け、今年 4 月から、市の健康推進課に助産師として配属になりました。これは、市にとっても画期的なことであり、地域助産師としても理想的な型だと思いまし

。新生児訪問指導や、産前産後のクラスを担当しています。今回はスキルアップのために、助産師会北海道・東北ブロック研修会に参加しました。戸田律子先生のクラス運営や、人に知識を伝える難しさを知りました。人の気

惹きつけるには、自分を磨くことと思いました。

これからも、さまざまな研修会に参加して、自分を磨き、人に安心感を与えられ、信頼される助

#### 《お知らせ》

いつまでも健やかに、美しく



「コーワリミテッド」さんの栄養補助サプリメント等のご案内を同封しました。助産師会には昔から、便宜を計らって下さる会社です。入用の方は直接 FAX、電話でご注文下さい。



「悪い子はいねえか」  
ブロック研修会懇親会にて

新生児集中ケア専門看護師

「新生児蘇生法 NCPR」

研修会終了

講師：東北大学病院副看護師長  
日本周産期・新生児医学会 新生児  
蘇生法『専門』コースインストラクター  
大川 直子 先生

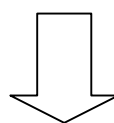
平成 20 年 8 月 10 日(日)エルソ  
ーラ仙台にて行われました。宮城県  
内から、72 名の助産師が集まり、盛  
大に終了しました。



(社)日本助産師会宮城県支部

みやぎ子育て・女性健康支援センター

ホームページのご案内



(社)日本助産師会宮城県支部

<http://midwife-miyagi.sakura.ne.jp>

会員のリンク先「頑張っています助産師」コー  
ナーにリンクを希望する会員は、施設、個人に係わ  
らず、支部長・書記長までご連絡下さい。ご連絡  
を頂いてから、必要時依頼文を発送致します。

みやぎ子育て・女性健康支援センター

<http://woman-assist.sakura.ne.jp>

Blog ホームページ上の「助産師からのメッセージ・  
活動報告」をクリックして下さい。

## お知らせ



住所・ご氏名・勤務先の変更について早急に本部と支部にお知らせ下さい。  
「助産師」機関紙巻末の変更届けで本部・支部にFAXでお願いします。  
会員証や支部便りの返送が多くなっています。二重の手間と経費がかかります。  
よろしくをお願いします。

みやぎ子育て・女性健康支援センターの広報カードを会員の皆様にお届けしました。  
よろしく広報の程お願い致します。なお、このカードは平成20年せんだい男女共同参画財団  
の助成を受けて作製したものです。

電話相談  
メール相談



Blogへ



## 4. 編集後記

みやぎ子育て・女性健康支援センターは、現在仙台市宮城野区榴ヶ岡5番、みやぎNPOプラザ  
の中に事務所を格安でお借りしています。が、来春で契約期間が終わります。この事務所では、  
・電話相談とメール相談 ・思春期教育等の受付と手配・教材保管 ・各研修会の申し込み先  
・機関紙（支部便り）の発行と発送 ・小役員会や打ち合わせ・助産師会資料等保管 ・助産師  
会関係書籍保管 ・助産師会名簿管理等の事務処理を行っています。来春に向けて、役員会を中  
心に今後の方向を探って行きます。皆様には、いい物件がありましたら、教えて頂きたいとよろしく  
お願いします。電話番号が変わらなくてもいい範囲で、ボランティア価格が嬉しいです。



### 「大切な命だから」

頒布価格 2,200円

みやぎ子育て・女性健康支援センターで思春期教育用に  
現在使用しているCD-Rを頒布します。ご活用下さい。  
事前資料として使用しているWard文書も着いています。

ご自宅で使用の場合は自由ですが、営利を伴う場合、著作権は放棄しておりませんので、事務局  
までご連絡下さい。なお、講話集とCD-Rと対してご覧になって頂けば、よりご理解頂けると思  
います。なお、CD-Rのスライドはパワーポイント、またはパワービューアのインストールが  
必要ですので、ご確認の上、ご購入下さい。ご注文は、022-297-1551、または  
<http://woman-assist.sakura.ne.jp>からお願いします。

みやぎ子育て・女性健康支援センターは、ご  
存知のように、助産師会の事業計画の元、各  
県に設置されています。宮城県は、ボランテ  
ィア団体として登録しています。  
相談件数を伸ばすことが実績に繋がります。  
よろしく広報下さい。

発行 社団法人日本助産師会宮城県支部

〒981-0911 仙台市青葉区台原 5-12-14

支部長 新田 みつ子

電話 FAX 022-272-6578

支部便り担当 田村雪子 松田美由紀

問い合わせや投稿は、090-2982-7235 田村雪子までお願いします。